

(様式第1号)

令和2年度 第1回総合教育会議 会議録

日 時	令和2年10月30日(金) 13:00 ~ 14:00
場 所	市役所北館4階 教育委員会室
出 席 者	いとう市長, 福岡教育長 木村教育委員, 越野教育委員, 上月教育委員, 河盛教育委員
司 会	田中企画部長
事 務 局	本間管理部長, 井岡学校教育部長, 中西社会教育部長, 大上政策推進課長, 山川管理課長, 木下学校教育課長, 田淵学校教育部主幹, 渋谷学校教育部主幹, 横田打出教育文化センター所長, 長岡生涯学習課長, 濱口政策推進課主査, 堂ノ前政策推進課主査, 下條管理課管理係長, 辻野政策推進課員, 真田政策推進課員
会議の公開	■ 公 開
傍 聴 者 数	0人

1 会議次第

(1) 開会

(2) 議題1 新型コロナウイルス感染症の対応について

議題2 GIGAスクール構想について

議題3 市立幼稚園3歳児保育の応募状況等(岩園幼稚園)について

(3) その他

2 提出資料

次第

資料1 新型コロナウイルス感染症の対応について

資料2 GIGAスクール構想について

資料3 市立幼稚園3歳児保育の応募状況等(岩園幼稚園)について

3 審議経過

田中企画部長 それでは、令和2年度第1回総合教育会議を開催いたします。本日、司会を務めます企画部の田中と申します。よろしくお願いいたします。早速ですが、市長から開会のご挨拶をお願いします。

いとう市長 皆さん、こんにちは。市長の伊藤でございます。本日は、ご多忙の中、第1回総合教育会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

本市では、新型コロナウイルス感染症の影響により、春休みを含め、3月3日～5月31日にかけて学校園では臨時休校、6月以降も分散登校となりましたが、学校関係者、学童保育関係者をはじめ、保護者や学校園に通う子どもたち自身にも大変ご苦勞をおかけしましたが、なんとか感染拡大防止に取り組むことができました。現在もその間の学習の遅れを取り戻すべく、関係者一丸となって、取り組んでいただいていることに深く感謝申し上げます。

本日は、「新型コロナウイルス感染症の対応について」、「GIGAスクール構想について」、「市立幼稚園3歳児保育の応募状況等（岩園幼稚園）について」の3議題を挙げております。

1つ目の議題、「新型コロナウイルス感染症の対応」は、新型コロナウイルス感染防止や子どもたちの生活リズムを整える視点を大切にしながら取り組んでまいりました。これまでの学校園の対応及び現状についてご報告いただき、今後のために意見交換させていただきます。

2つ目の議題、「GIGAスクール構想について」は、今般の新型コロナウイルス感染症により臨時休校措置等でオンライン授業の必要性が高まったことを受け、「1人1台端末」を早期に実現させるため、ネットワーク構築費用など、9月には補正予算に組み込み、市議会にご承認いただいたところですが、その進捗状況の報告をいただくものでございます。

3つ目の議題は、「市立幼稚園3歳児保育の応募状況等（岩園幼稚園）」についてです。前回、昨年8月2日の総合教育会議において、市立幼稚園での3歳保育の実施についてご協議いたしました。今回は、令和3年4月から、岩園幼稚園にて試験的に実施させていただくにあたり、申込みの応募状況と保護者アンケートについて、報告をいただくものでございます。

芦屋の子どもたちのために、皆様には、本日の意見交換を含め、今後ともご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

田中企画部長 会議の成立について確認いたします。本日の会議ですが、全委員出席のため、成立しています。

また、本会議は原則公開です。本日の議題は、個人情報等の非公開とすべきものが

ございませんので、公開でよろしいでしょうか。

一同 異議なし

田中企画部長 了解いただきましたので、公開とします。これより会議の傍聴を認めたいと思いますが、本日は傍聴者はおられません。

それでは、議題1「新型コロナウイルス感染症の対応について」を教育長よりご説明をお願いします。

【議題1 新型コロナウイルス感染症の対応について】

福岡教育長 市長と情報共有を密にしながら進めてまいりました。芦屋市新型コロナウイルス感染症対策本部において市全体の問題として取り組んだことが、市民の皆さんに安心感をもっていただいたものと考えております。そして、4月の臨時議会において、家庭でのオンライン学習支援、感染拡大防止の観点からのサーモグラフィ装置の各校への配置、臨時見舞金の3つの制度を補正予算に組むことができ、対策を進めることができました。

首相が2月27日（木）に学校園に対して臨時休業要請を発出され、3月2日（月）から休業することの要請がありましたが、保護者や子どもたちのことを考え、3月3日（火）から休業することとし、市として一貫して先を見ながら、市長と情報共有することで市民に安心していただくために、結果的には5月末までの休業となりました。また、今年の3月で閉園となった朝日ヶ丘幼稚園での式典ができなかったことは残念ではありますが、卒業式については、来賓を無くし、三密を避けることで実施できたことは良かったと思っております。入学式についても、幼稚園は6月まで延びてしまいましたが、登校日に合わす形で実施できました。5月になり、分散登校園を実施し、夏休みは例年より短く、お盆を中心とした約2週間とさせていただきます。

学校行事関係について、修学旅行は、部分的に内容や日程を変更することで実施することになり、体育大会は授業参観に変更するなどとし、合唱コンクールもできる限り実施しています。来年の卒業式なども予定はしていますが、その時の感染状況により検討が必要です。

4、5月頃から比較すると、心の緩みが出てくる頃になるため、三密を避け、手洗い・うがいなどの基本的な生活習慣を徹底し、市民の皆さんに安心していただける学

校園の取組を進めてきたと考えております。

井岡学校教育部長 始業式をどうするか市長と協議してきており、子どもたちや保護者が不安にならない形で進めることができたのは本当に良かったと思っております。財政面でも配慮をいただいているため、有効的に活用し、実務を進めていきたいと考えております。

田中企画部長 説明は以上です。ご意見・ご質問はありますか。

河盛委員 市内でも10代の感染者は出ているが、いずれも家庭内感染に留まり、先生方の尽力もあり、学校園での感染拡大に至っていませんが、常にリスクを伴うため、行事を開催するごとに、慎重にご判断をお願いします。

井岡学校教育部長 行事实施にあたり、感染予防を最重点に考えております。感染対策をしっかり取れるスペースや配置を確保できる状態で開催の判断に踏み切っています。感染症対策が取れない場合は中止や延期にしていますが、行事を全て中止するのではなく、最大限努力をする中で実施し、検証し、対策を講じながら進めていきたいと考えております。

河盛委員 室外でも可能な場合は、室外で実施することを検討してください。また、室内で実施する場合は、換気・人数・時間などを考えて実施していただきたいです。室外においては、安全性は高まりますが、終わってから感染する可能性があります。

木村委員 感染源や治療法なども徐々に解明されてきており、社会生活を営みながら新型コロナウイルス感染症と付き合い、過度に恐れず甘く見ず、一定の緊張感を持つことが大切だと思います。

上月委員 ガイドラインを必要に応じて更新すること等は、教育現場を安心させていると考えます。今後は、先行きが読めない中で教育を進めていくことが重要なテーマです。学力や身体面・精神面の健康の保障が必要になり、学校現場だけではなく、教育委員会も一体となって子どもの現状を把握しつつ、居場所づくりを進めていかなければならないと考えております。

越野委員 子どもたちは、新型コロナウイルス感染症下において、サーモグラフィでの検温、マスク着用や手洗いの徹底、給食時の私語は控えるなど、日常生活の中で当たり前になってきています。また、従来まで行事の見直しはなかなかできませんでしたが、新型コロナウイルス感染症を契機に見直せる機会になっているため、柔軟に行事の必要性の有無について考えていただきたいです。

河盛委員 コロナで不登校の児童生徒が増えていると聞きますが本市ではどうでしょうか。

井岡学校教育部長 3か月も休業が続いたため、6月当初は不安でしたが、昨年まで登校しにくかった児童生徒も、段階的に分散登校を始めたこともあり、部分的に登校するようになってきております。今後も注意して子どもたちの健康と居場所をサポートしていきたいと考えております。

いとう市長 東京との往来に規制がなくなったこともあり、市内では感染者が出てきており、今後は学校でも濃厚接触者の数は増えると思いますが、子どもたちや保護者が不安にならないためにも、学校園は対策等を徹底していることを発信していただきたいと思います。

【議題2 GIGAスクール構想について】

田中企画部長 それでは、議題2「GIGAスクール構想について」を教育長よりご説明をお願いします。

福岡教育長 大容量のデータを高速に伝えるネットワークの構築が国の施策として始められました。コロナウイルス感染症が発生するまでは校内のネットワークを充実させることを5か年の計画で始めておりましたが、3月に状況が一変し、オンラインで家庭と学校を繋ぎ授業を実施するなど新たな形も想定しております。

1人1台端末を踏まえ、本市では、約6,000台のタブレットが必要になります。他市には劣らないスピードでタブレット端末導入の準備を進めており、12月頃に納品され、来年から端末の設定を順次行っていく予定です。また、従来の学習形態から新しい形態へ変わるため、学校の先生の負担を軽減する努力をしながら、進めていきたいと考えております。現在の学習を補完し、かつ充実を図ることを目的とし、予算を無駄にしないように執行していきたいと考えております。

横田打出教育文化センター所長 タブレットだけでは使用できませんので、現在は校内LANの整備をしており、来年の1月中旬にはタブレットを使用できるように進めております。

田中企画部長 説明は以上です。ご意見・ご質問はありますか。

河盛委員 対象者は、小学校1年生からですか。

井岡学校教育部長 小学校1年生から中学校3年生まで、1人1台に貸与という形で配布になります。

木村委員 手書き入力もできるペンも附属していますか。

横田打出教育文化センター所長 タブレット端末に附属されていませんが、小学校低学年には手書きも必要になるため、安価なもので検討する予定です。

木村委員 手書き入力が便利のため、デジタルとアナログを使い分ける考え方になってきています。AIの発達で音声テキストにしたり、手書き文書のOCRでの文字認識ができる流れの中で、デジタル教科書は必須になると思います。教育は、デジタルで効率的にできることは進めたら良いですが、他の分野と違うのは、人間の触れ合いが重要になるため、デジタルで進める部分を明らかにし、教育の核になる部分は残してほしいです。

上月委員 今後コロナウイルス感染症が収束すれば、元の教育に戻るといったことはないと思います。私自身、実際にオンラインにおいても、グループ活動ができたり、1人1人の学びの状況が見えたりするなど、対面していなくても授業を進めることができることを実感しました。今後は、文部科学省が示していますが、対面とオンラインを併用して授業を進める必要があり、教員同士の協力や、進めるための現場の空気感が必要であり、教員同士が工夫しながら子どもの興味を引き付け、子どもが主体的に学べるような教育を模索する必要があると考えております。

越野委員 コロナウイルス感染症の影響で全国的にICT授業の遅れが表面化され、家庭環境の違いを理由に授業の動画配信等を進めていない市もある中で、本市では、教育委員会が率先して動画配信をしたことは、早い対応であったと感じます。タブレットによる利点としては、個別学習ができ、子ども1人1人の習熟度にあわせて学習を進めていけるところにあると思います。従来まで、タブレットは配備されていましたが、使用の有無は先生によって違いがありましたので、今後は、先生全員が使用する必要があります。来年1月から配備されるため、学校現場はコロナウイルス感染症の対応等、余裕のない状況だとは思いますが、教育委員会からICTにより教育の幅が広がるということを先生方にアピールし、研修を積み重ね、全員が利用できる体制を整えてほしいと考えます。

井岡学校教育部長 今の授業の中で、デジタル面を取り入れることでより効果的にできるという視点を現場に伝えています。教員の中で、使用の差がでないように、簡単な使い方等から実践していき、研修の場や教育委員会からアイデアを出し、使用していきたいと考えております。

いとう市長 時間のなかで使用方法の研修等をしていただきありがとうございます。塾などは先行して実践しており、学べるところは学んでいただければと思います。プレッシャーになるかもしれませんが、GIGAスクールが成功するかどうかは選ばれる自治体につながるかと考えております。

【議題3 市立幼稚園3歳児保育の応募状況等（岩園幼稚園）について】

田中企画部長 それでは、議題3「市立幼稚園3歳児保育の応募状況等（岩園幼稚園）について」を教育長よりご説明をお願いします。

福岡教育長 昨年8月に開催した総合教育会議において、1園での3年保育の試験的实施を市長より提言があり、幼児教育無償化等の大きな変化の中で、実施することになります。試験的を理由にして手を抜くことなく、子ども1人1人を大切に、保護者に安心していただけるように進めてまいります。そのことが、選ばれる自治体としての評価につながると思います。今回、44名の応募があり、抽選で25名を決定いたしました。また、応募の実施に伴いアンケートを行いましたところ、岩園幼稚園の3歳児保育を選ばれた理由として、「地域の幼稚園」、「施設・環境面」、「園や先生の雰囲気」の回答が多くありました。また、就学前教育が望まれていることがわかりました。

来年度に始まる試験的実施の教育内容の確認、令和4年4月から入園が始まる伊勢幼稚園跡及び朝日ヶ丘幼稚園跡の認定こども園の応募状況を踏まえ、実施結果の検証をしていきたいと考えております。

田中企画部長 説明は以上です。ご意見・ご質問はありますか。

越野委員 市内の3歳児保育における他の園を見ても、精道認定こども園、西蔵認定こども園ともに、1号認定の3歳児の募集は定員を上回っており、3歳児教育のニーズは高いと感じております。また、昨年からの幼児教育無償化の影響を受け、公立幼稚園の4歳児の応募は前年比で、市内全園で下がっています。国が幼児教育無償化の対象を3歳～5歳にしていることは、3歳から幼児教育が始まることを国が示していると読み取ることができ、従来までは4歳からと考えていた保護者も、3歳からの入園を考える方も少なくなく、来年度4歳の入園児が少ないことは、今年4月時点で3歳になる子どもたちはどこかの就学前施設に入園していることを示していると考えております。保護者の立場からすれば、距離のある私立の園に入れるより、

小学校への進学を考えると、地域にニーズに合った施設があれば、そこに通わせたいと思うものです。3歳から就学前施設に入れることが増えていくと、今後は公立幼稚園の園児数は伸びず、単学級が続き、廃園の検討となるかもしれませんが、幼児教育は、幼稚園教育要領でも示すように人格を形成する上での基礎であり、本市が「教育のまち」を掲げている以上、教育委員会が、幼稚園教育を手放すわけにはいかないと感じています。2017年に改訂された幼稚園教育要領においても、幼小の連携や接続は最重要視されております。幼稚園と小学校の教育は連続していくものであり、市内の就学前施設の交流を始め、就学前教育を公立幼稚園が引っ張っているため、公立幼稚園の役割は大きく、存続させることが必要と考えます。

木村委員 3歳児保育を全園で実施しないと維持はできないと考えます。3歳児保育は、スタンダードであり、実施せずに統廃合の検討をすると必ず異論は出ると思います。検証後に他の園を実施するのでは遅く、予算や体制の検証は大切ですが、スピードを早めて、内容的には実施すべきと考えます。

上月委員 3歳は発達節目で自我が芽生える時期であり、集団行動を大切にしていくことが大事だと考えます。今後は、3歳児教育の良さをPRしていくことが必要だと思います。幼児教育のアドバイザーや、他の機関との連携など、良さを伝える方法を考えていく必要があると考えます。

いとう市長 初めての試みになるので、期待感があるとともに、事故がないように心掛けていただきたいと思います。また、人口減少に向かっている中で、効率的な施設運営も必要になると考えるため、皆さまと協議させていただきたいと思います。

田中企画部長 それでは本日予定していました3つの議題が終了しました。最後に、教育長より挨拶を頂戴します。

福岡教育長 本市教育委員会70周年記念誌に教育長あいさつとして載せた文章の最後の部分を閉会の挨拶の言葉としたいと思います。

「令和2年当初から新型コロナウイルス感染症の感染予防として学校園は臨時休業、行事の中止、分散登校等の対応を行ってまいりました。今までの生活スタイルを変容せざるをえない中において、学校教育もICT等を活用した授業方法の工夫と同時に家庭及び地域とのさらなる連携が求められます。そのような状況だからこそ、芦屋の教育の基本である人と人との繋がりを大切にして行きたい。」としており、市民の皆さま及び市長と繋がりを大切にしたいと考えております。

田中企画部長 本日の議事は以上です。次回の開催は現在のところ未定ですが、必要に応じて開催したいと考えております。ありがとうございました。

以 上